

周防大島町の話題



▲生徒一人一人が将来の決意と目標を表明。



▲生徒たちにエールを送る小泉選手。

立志の誓い

1月28日、周防大島中学校において、立志式が行われました。これは、日本で古くから行われていた成人を示す儀式「元服」にちなんで、数え年の15歳を祝う行事で、将来の決意や目標を表明することで、大人になる自覚を深めることを目的としています。

参加した2年生46人は、色紙に書いた誓いの言葉漢字一文字を披露し、将来の夢や目標に向かって努力することや取り組むことを強く述べました。

また、周防大島町出身で、昨年の東京2020オリンピック競技大会セーリング男子49erに日本代表として出場した小泉維吹選手の記念講演も実施されました。講演の中では、自分がやってみたいことを伝えること、何かを起こすことは自分の行動次第ではできるといふ、行動に移すことの大切さについての話がありました。

小泉選手は、「これから自分達がやっていきたいことに対して全力で取り組んでいってもらいたい」と生徒を激励しました。

献血にご協力を！

2月24日、大島・久賀地区において献血が行われ、43人にご協力いただきました。

献血された輸血用血液製剤の多くは、がん（悪性新生物）の患者さんに使用されています。

近年では、若年層の献血者が減少傾向にあり、輸血を必要としている方々を支えていくためには、各年齢層はもとより、若年層の協力がますます必要となります。皆さまのご協力をお願いします。



▲看護師さんと話しながら和やかな雰囲気です。

給水車配備

2月24日、周防大島町と「災害時等における応援協力に関する協定」を結んでいるフジ地中情報株式会社が、柳井地域広域水道企業団の日積浄水場に給水車を配備し、その配備式が実施されました。

給水車は、災害や断水を伴う事故などによる非常時の応急給水活動の充実を図るために配備されたもので、周防大島町や近隣市町に配備された給水車も含め、緊急時や災害時での活躍が期待されます。



▲周防大島町や柳井市、田布施・平生水道企業団の給水車も集結